

令和5年度 島根県学力調査結果及び分析

松江市立本庄小学校

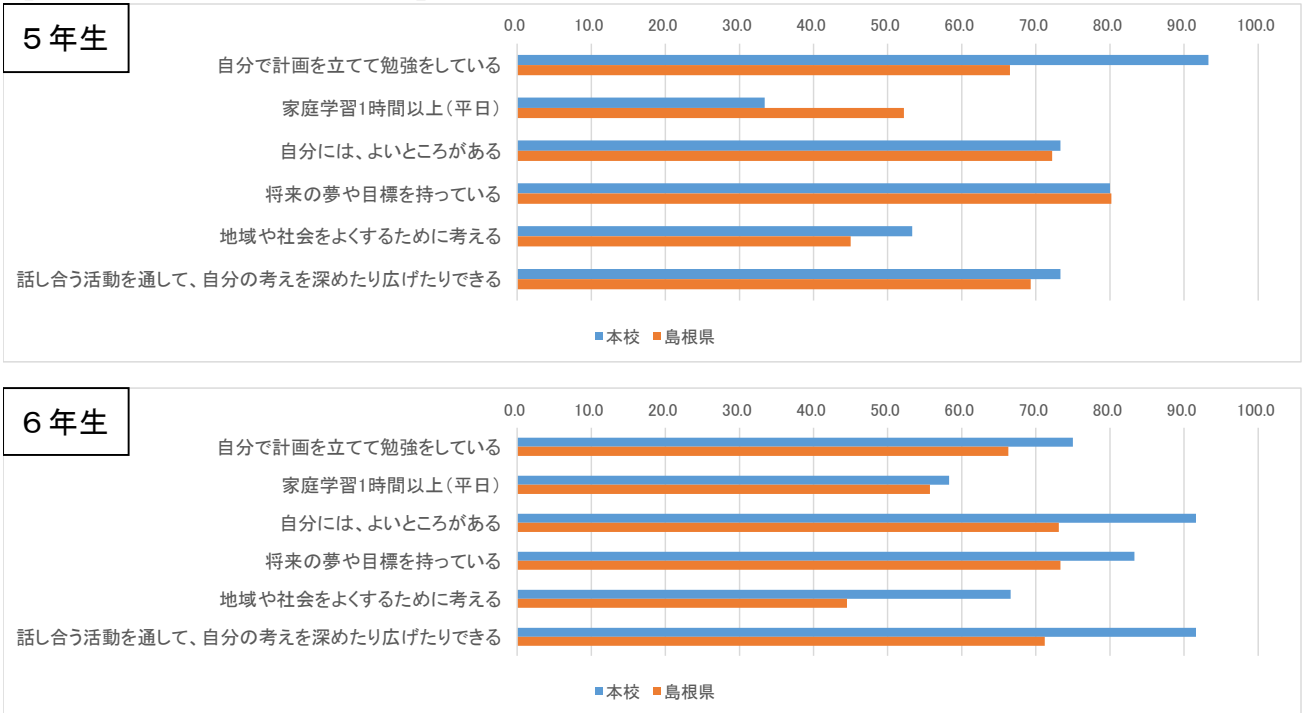
【1】「教科に関する調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	5年生	6年生
国語	○「漢字を読む・書く」の項目で、県・全国平均よりも高い正答率となっている。校内での日々の取組（書きとり会・毎日の課題）の成果が表れていると考えられる。 ●「話合いの内容を聞き取る」「物語・説明文の内容を読み取る」の項目で、県・全国平均よりも低い正答率となっており、今後の課題としてあげられる。	○「内容を聞き取る」「漢字を読む」「目的や意図に応じて書き表し方を工夫する」の項目で、県・全国平均よりも高い正答率となっている。校内での日々の取組（書きとり会・ポスターまとめ）の成果が表れていると考えられる。 ●「物語・説明文の内容を読み取る」「文章を書く」の項目で、県・全国平均よりも低い正答率となっており、今後の課題としてあげられる。
算数	○「合同」「図形の角」の項目で、県・全国平均よりも高い正答率となっている。校内での取組（計算会や毎日の課題）の成果が表れていると考えられる。 ●「単位量あたりの大きさ、比例」「平均」の項目で、県・全国平均よりも低い正答率となっており、今後の課題としてあげられる。	○「分数のかけ算・わり算」「文字と式」「拡大図と縮図」「面積と体積」の項目で、県・全国平均よりも高い正答率となっている。校内での取組（計算会や毎日の課題）の成果が表れていると考えられる。 ●「比を使って、一方の量から全体の量を求める」問題で、県・全国平均よりも低い正答率となっており、今後の課題としてあげられる。

【2】「意識調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	5年生	6年生
意識	○「朝は時刻を決めて起きている」「朝食をきちんと食べている」の項目で、高い数値を記録している。日々の取組（にこにこ生活チャレンジ週間）の成果とも考えられる。 ●「自分で時間を決めてテレビを見ている」「平日のゲームやスマホの利用時間が2時間未満」の数値が低い。メディアとの関わり方が今後の課題としてあげられる。	○「朝食・夕食をきちんと食べる」「学校で使う物は、自分で用意している」「学校のきまりを守っている」「学校では、先生に挨拶している」「出かける時は、家の人に行き先を言っている」の項目では、100%の数値を記録している。これまでの学校と家庭とが連携した取組の成果と考えられる。 ●「本・新聞記事を読んでいる」「図書館を利用している」の項目の数値が低い。読書時間が延びるように、図書館教育のさらなる充実を図る必要がある。

【3】「意識調査に関するデータ」（教育委員会として注目している項目のうち全国調査と同様の質問項目を挙げています）



【R5学力調査受検者数】

5年生

15

名

6年生

12

名

（欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は最少の受検者数をもって表示）